

団体検査員用

基礎配筋検査報告書 (兼チェックリスト)

加盟団体名				総合判定
報告書作成日	年 月 日			
検査日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分			
登録物件名	様邸	物件番号		
事業者名		事業者番号		
事業者立会者				
検査員名				

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:書類(設計図書含む)による確認
「判定」欄 ○:適 ×:不適 -:該当なし

※目視・計測可能な部位で確認し、保険の適否を判定します。

【写真】建物の全景写真の他、項目に関連した写真の撮影が必要であることを示しています。
写真撮影の詳細はマニュアルを参照ください。

1. 書類

No	項目	方法	判定
1-1	基礎配筋検査用の必要書類	C	
【備考】			

2. 基礎

No	項目	方法	判定
2-1	べた基礎の鉄筋径および配筋間隔 【写真】	A B C	
2-2	布基礎の鉄筋径および配筋間隔 【写真】	A B C	
2-3	布基礎の底盤幅	A B C	
2-4	深基礎の鉄筋径および配筋間隔 【写真】	A B C	
2-5	出隅・入隅、T字型、十字型、直線の各部分の配筋状況 【写真】	A B C	
2-6	基礎立上り部 欠き込み補強筋状況 【写真】	A B C	
2-7	かぶり厚さ60mm以上(ベース配筋またはスラブ配筋の下端)	B C	
【備考】			

特記事項

--

基礎配筋検査 自主検査 写真枠台帳

No.1

様 邸

① 全 景 写 真	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。 この写真枠台帳は下記1又は2の使用方法があります。 1. デジタルカメラで撮影した場合は、写真データーをこの枠内に入る大きさに編集し、貼り付けして、検査報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX(又はメール)送付します。 2. この台紙を印刷して、現像した写真をここに貼り付けして検査 報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX (又はメール)送信します。	

② 外 周 部 基 礎 立 上 が り 部 分	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。	

[自主検査報告書(兼チェックリスト)+写真の送信先(FAX又はメール)]
 〒136-0071東京都江東区亀戸1-14-4 株式会社 日本住宅保証検査機構 業務センター
 FAX番号:03-6861-9234 メールアドレス:kantou1jio@jio-kensa.co.jp

③ 出隅部分の状況	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。	

④ 床下換気口部分の補強筋	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。	

⑤ スラブ配筋の状況	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。	

⑥ 深基礎部分の状況	備考欄
161. 木造軸組枠組壁 用 (丸太組構法,木質パネル工法,伝統工法,スチール・薄板軽量形構造 含む) この枠内に写真を貼り付けます。	

団体検査員用

基礎配筋検査報告書 (兼チェックリスト)

加盟団体名				総合判定
報告書作成日	年 月 日			
検査日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分			
登録物件名	様邸	物件番号		
事業者名		事業者番号		
事業者立会者				
検査員名				

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:書類(設計図書含む)による確認

「判定」欄 ○:適 ×:不適 -:該当なし

※目視・計測可能な部位で確認し、保険の適否を判定します。

【写真】建物の全景写真の他、項目に関連した写真の撮影が必要であることを示しています。
写真撮影の詳細はマニュアルを参照ください。

1. 書類

No	項目	方法	判定
1-1	基礎配筋検査用の必要書類	C	
1-2	鉄筋の種類	C	
1-3	基礎コンクリート設計基準強度	C	
【備考】			

2. 共通

No	項目	方法	判定
2-1	定着・継手状況	【写真】ABC	
2-2	鉄筋のかぶり厚さ	ABC	
【備考】			

3. フーチング

No	項目	方法	判定
3-1	フーチング(F)の配筋状況	ABC	
【備考】			

4. 基礎梁

No	項目	方法	判定
4-1	地中梁(FG)の配筋状況	【写真】ABC	
4-2	地中小梁(FB)の配筋状況	ABC	
【備考】			

5. 柱

No	項 目	方 法	判 定
5-1	柱(C)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

6. 基礎スラブ

No	項 目	方 法	判 定
6-1	基礎スラブ(FS)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

7. 床スラブ

No	項 目	方 法	判 定
7-1	床スラブ(S)の配筋状況	A B C	
【備考】			

特記事項

--

基礎配筋検査 自主検査 写真枠台帳

No.1

様 邸

① 全 景 写 真	備考欄
163. 「RC造」用 164. 「混構造 地下地上RC造」用 この枠内に写真を貼り付けます。 この写真枠台帳は下記1又は2の使用方法があります。 1. デジタルカメラで撮影した場合は、写真データーをこの枠内に入る大きさに編集し、貼り付けして、検査報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX(又はメール)送付します。 2. この台紙を印刷して、現像した写真をここに貼り付けして検査 報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX(又はメール)送信します。	

② ベース筋	備考欄
163. 「RC造」用 164. 「混構造 地下地上RC造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

[自主検査報告書(兼チェックリスト)+写真の送信先(FAX又はメール)]
〒136-0071東京都江東区亀戸1-14-4 株式会社 日本住宅保証検査機構 業務センター
FAX番号: 03-6861-9234 メールアドレス: kantou1jio@jio-kensa.co.jp

③ 地中梁	備考欄
163. 「RC造」用 164. 「混構造 地下地上RC造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

④ 柱筋	備考欄
163. 「RC造」用 164. 「混構造 地下地上RC造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

⑤ 継手状況（または定着状況）	備考欄
163. 「RC造」用 164. 「混構造 地下地上RC造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

団体検査員用

基礎配筋検査報告書 (兼チェックリスト)

加盟団体名			
報告書作成日	年 月 日		
検査日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分		
登録物件名	様邸	物件番号	
事業者名		事業者番号	
事業者立会者			
検査員名			

総合判定

【凡例】「方法」欄 A:目視確認 B:計測確認 C:書類(設計図書含む)による確認

「判定」欄 O:適 ×:不適 -:該当なし

※目視・計測可能な部位で確認し、保険の適否を判定します。

【写真】建物の全景写真の他、項目に関連した写真の撮影が必要であることを示しています。
写真撮影の詳細はマニュアルを参照ください。

1. 書類

No	項目	方法	判定
1-1	基礎配筋検査用の必要書類	C	
1-2	鉄筋の種類	C	
1-3	基礎コンクリート設計基準強度	C	
1-4	アンカーボルトの種類	C	
【備考】			

2. 共通

No	項目	方法	判定
2-1	定着・継手状況	A B C	
2-2	鉄筋のかぶり厚さ	A B C	
【備考】			

3. フーチング

No	項目	方法	判定
3-1	フーチング(F)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

4. 基礎梁

No	項目	方法	判定
4-1	地中梁(FG)の配筋状況	【写真】 A B C	
4-2	地中小梁(FB)の配筋状況	A B C	
【備考】			

5. 柱型

No	項 目	方 法	判 定
5-1	柱型(FC・C)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

6. 基礎スラブ

No	項 目	方 法	判 定
6-1	基礎スラブ(FS)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

7. 床スラブ

No	項 目	方 法	判 定
7-1	床スラブ(S)の配筋状況	【写真】 A B C	
【備考】			

8. アンカーボルト

No	項 目	方 法	判 定
8-1	アンカーボルトの設置状況	A B C	
【備考】			

特記事項

Empty space for special remarks

基礎配筋検査 自主検査 写真枠台帳

No.1

様 邸

① 全 景 写 真	備考欄
162. 「鉄骨造」用 165. 「混構造 地上S造」用 この枠内に写真を貼り付けます。 この写真枠台帳は下記1又は2の使用方法があります。 1. デジタルカメラで撮影した場合は、写真データーをこの枠内に入る大きさに編集し、貼り付けして、検査報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX(又はメール)送付します。 2. この台紙を印刷して、現像した写真をここに貼り付けして検査 報告書といっしょに、JIO業務センターへFAX(又はメール)送信します。	

② 直接基礎ベース	備考欄
162. 「鉄骨造」用 165. 「混構造 地上S造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

[自主検査報告書(兼チェックリスト)+写真の送信先(FAX又はメール)]
 〒136-0071東京都江東区亀戸1-14-4 株式会社 日本住宅保証検査機構 業務センター
 FAX番号: 03-6861-9234 メールアドレス: kantou1jio@jio-kensa.co.jp

③ ベタ基礎	備考欄
162. 「鉄骨造」用 165. 「混構造 地上S造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

④ 地中梁	備考欄
162. 「鉄骨造」用 165. 「混構造 地上S造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

様 邸

⑤ 柱脚	備考欄
162. 「鉄骨造」用 165. 「混構造 地上S造」用 この枠内に写真を貼り付けます。	

登録物件名

様邸

届出
事業者名

実施年月日

年 月 日

検 査 員

工 程

基礎配筋検査(自主検査)



(株)日本住宅保証検査機構



2012.10.03

【現地調査チェックシート】

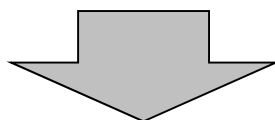
※太枠の欄に記入をお願いします。

現地調査実施日	年 月 日	チェックシート 作成日	年 月 日
事業者番号		事業者名	
物件名	様邸		
代表となる設計者	【氏名】 【資格】()建築士 ()登録第()号		

【説明】

- ・全ての項目が右欄の状況に該当しない場合はチェック欄に“○”を記入してください。
- ・本チェックシートは、一戸建てにおける2階建て以下の木造住宅に使用することができます。
- ・本チェックシートは、地盤が“岩盤等”で明らかに地盤調査が不要な場合に使用することができます。
- ・全ての項目が右欄の状況に該当しない場合(チェック欄“○”)は、地盤調査(設計施工基準第4条第1項)を省略することができます。この場合、本チェックシートを地盤調査報告書の代替とすることが可能です。
- ・本チェックシートの内容は、代表となる設計者が確認し、構造の安全を確保していると判断したものとして扱います。

項目		状況
建設地周辺の概況		水田・沼地跡・谷地等、もしくは不明
周辺状況 (建設地を中心に半径50m程度以内の目視調査を行う)	周辺道路	不具合あり(舗装に亀裂、陥没、波打等)
	近隣建物	不具合あり(基礎・外壁に亀裂、不同沈下等)
	近隣工作物	不具合あり(擁壁・ブロック塀等に亀裂、段差、はらみ出し等)
	建設地の既存建物	不同沈下あり
敷地状況	盛土(現況)	厚さ30cm以上の盛土部あり、もしくは不明
	盛土後の経過年数	盛土後10年未満、もしくは不明
	盛土(予定)	厚さ30cm以上の盛土予定あり
	基礎下部の盛土の厚さ	不均一
	軟弱さ	・鉄筋が容易に差し込める ・スコップで容易に掘れる ・車等による振動を体感する
	ビル・工場等の大規模な既存建物の解体	あり、もしくは不明



判定	チェック欄
上記全ての項目の状況に <u>該当しない</u>	

※本チェックシートはJIOに写しを提出後、地盤調査報告書の代替として適切に保管をお願いします。

SN2004-01(2012.10)